

今月は「インターネット検索」がテーマです。

何でもやっても検索

インターネットの情報を検索するとき、検索画面にキーワードを入力して検索する方法が一般的ですが、膨大な情報の中から、ほしい情報を的確に探し出すには、根気と工夫が必要です。根気だけだと、限界がありますので、そのテクニックをいくつか紹介。

検索の仕組みは、入力された「**キーワード**」と「**一致する文字列**」を持つページを検索します。

例えば、「京都 和食」と入力して検索すると、その言葉が含まれるページを検索します。

京都の和食レストランや観光地などが、旅行社のホームページや、そのレストランの感想ブログ、東京の情報なども表示されてしまうのです。(東京の情報が対象になるのは「東京都」という文字列に「京都」の文字が含まれるからです。)

テクニック1

探したりぐーるにどんな文字が含まれているか想像する。よく使う方法で、「**～ば**」という文字列で検索します。物事を説明しているページを探したりきたくなるに有効ですね。説明文の中で「～ば…～である」というような記述が多いと思われるからです。

テクニック2

入力されたキーワードは、時には分割されて判断される場合があります。または英文のように間にスペースが含まれる時など。入力した文字列と完全に一致する文字列を持つページの検索には、検索文字を「**：“”**」でくくります。

テクニック3

除外したい文字列がある場合は、ワードの前に「**-**」を付けます。

これだけでも検索結果は少し変わってしまうことがあります。

あとはやはり「**根気**」です。



まだある検索！

ページを検索するだけではなく、動画やYoutTube、音楽などの動画などを一つを絞って検索するのも可能です。

* 画像

画面を画像検索に切り替えると、画像やYoutTubeを対象にした検索ができます。

* 動画

様々な動画が見られます。Youtube、Google動画ならGoogleのページで「動画」で検索します。

* ブログ

近頃流行の「ブログ」。その中から気になる記事を探せます。ブログ検索ページで。

* 書籍

本の検索ができます。ある程度内容を参照できるのに、「**本屋で立ち読み感覚**」で検索します。気に入ればオーライハムリップですぐ購入も。

* ニュース

あらゆるニュースニュースから、ニュースを検索できます。同じテーマでも発信元が違うと視点も内容も異なります。



「**リババー**」を Yusuke Murata が活用しました。便利な機能が満載です。翻訳は英語のサイトをある程度翻訳して表示してくれますので便利です。

グーグルのサービスはまだあります。それはまた次月以降に。

☆それではまた次月!☆